

熊の大量出沒！なぜ？

「ママシが出ます。」

「熊が出ます。」

「熊が出ました。」

昨年七月、友人二人と上越市の郊外を散策した。最近、山の入口などにある「入山禁止」の看板が目につく。車で来て山菜をこっそり持っていつてしまうのだから、それで生計を立てている農家は大変だ。だから「山菜取るべからず」からお願ひ調の「山菜は農家の貴重な収入源です。」とか「山菜はこの村の大切な財産です。」などがある。

多分、それでも効果が無いよう「ママシが出ます。」熊が出ます。「熊が出ました。」とある。さらに「先週、熊が出ました。」とリアリティで説得を試みている。しかし、その看板は一週間前の新しいものではなく、かなり時間がたった古ぼけたものだったからおかしい。

本当に熊がでました。

「本当に熊が出ました。」といつても狼少年ならぬ熊小父さん。中々信用してもらえないかも？でも、本当に熊が出沒しており、上越市だけで昨年三十二件、三市で二、三六頭だそうである。今年はさらにそれを大幅に上回る様子。

その原因はいろいろ言われているが基本的にエサ不足のようだ。色々言われている原因を挙げると次のようになる。

- ・天然記念物として保護されているカモシカが増えすぎ、奥山には食べ物が無いので里に出てくる。
- ・熊の住む奥山と人里との緩衝地帯だった里山が、エネルギー変化、高齢化、過疎化、林業の衰退などで手入れを行わなくなったために荒れ、里山が熊の住みやすい環境になってしまった。

まった。

・最近では農村でも犬の放し飼いが禁止されているため、これまで里近くへ来るとうるさかった犬が居ないため、容易に人里へ近づける。

先月のＪネットの交流会で行った牧区では農家の柿の木に鈴なりの苦の柿の実が一つも無かった。熊が来るので、除去したそうだが。また、県境にある関田山系のブナ林に入った際、誰かが鈴をつけて歩いていた。さすがに地元の人には…と思つたら東京から参加した理事の藤沢さんだった。

流石に勉強会の幹事…と大いに感心させられた。

(編集部)

熊目撃情報

十月以降に上越市で目撃された目撃情報を次に示す。

十月

一日

四日

九日

十日

十六日

十八日

二十三日

中郷区藤澤地内の洪江川辺
板倉区東山寺地内の農道
牧区神谷地内の山中
中郷区坂本内
安塚区須川地内の菱ヶ岳腹
大字塩稻荷地内の山中道路
名立区西蒲生田地内の県道

二十五日 中郷区稲荷山地内の畑
二十九日 名立区東飛山地内農道

十一月

一日

二日

二日

十三日

十七日

二十五日

上正善寺地内の住宅裏
大島区大島地内の市道
上越市立下保育園付近
板倉区別所地内
清里区赤池地内の林道
牧区東松ノ木地内の山林



クマを引き寄せるカキの実を除去